



南行通信

～やさしさいっぱい 夢いっぱい 元気いっぱい～

令和7年10月1日
校長 中村 由美子



澄みわたる秋空のもと、確かな実りの秋へ

秋の気配が感じられる頃となりましたが、今年は9月に入っても例年になく暑い日が続きました。学校では、毎日暑さ指数(WBGT)を計測しており、指数が31を超えたため、外での体育や遊びを制限せざるを得ない日もあり、子どもたちには我慢を強いることも多くありました。このところ、やっと暑さ指数を気にすることなく遊ぶことができるようになり、秋がやってきたことを感じています。ご家庭におかれましても、体調管理にご協力いただき、心より感謝申し上げます。

さて、学校はまもなく前期のまとめの時期を迎えます。入学・進級から今日までの半年間、真剣に考える姿、友達と協力して活動する姿、様々な困難に立ち向かう姿から、子どもたちの確かな成長を感じています。この前期の学習や生活で頑張った姿を評価した通知表「あゆみ」を、10月10日(金)にお渡しします。この半年間の頑張りや、これからさらに伸ばしてほしいことを、担任が一人ひとりに向けたメッセージとして添えながら手渡す予定です。ご家庭におかれましても、「あゆみ」の内容をご覧いただき、「自分のがんばったところは?」「成長したなと思うところは?」などお子さんから聞いていただく機会を作っていただけすると幸いです。お子さん自身が自分の成長を客観的に見るとともに、その成長をおうちの方に認めていただくことは、大きな自信につながると思います。学校とご家庭が連携し、子どもたちのさらなる成長を後押ししていきましょう。

心地よい秋風が吹く10月、子どもたちが健康に、そして充実した後期をスタートできるよう、ご理解とご協力をお願いいたします。

あいさつから友達になろう。

9月16日から30日まで、代表委員会が「あいさつから友達になろう」をスローガンに「あいさつ運動」を行いました。毎朝、代表委員が正門と南門に立ち、登校する子どもたちにあいさつをしました。代表委員が毎日、給食時の



放送であいさつのポイントを伝えました。あいさつ運動が始まったばかりの頃は、恥ずかしそうにしていた子どもたちも、最終日は元気にあいさつをする姿がありました。あいさつ運動は、9月30日で終わってしまいましたが、これからも明るいあいさつができるよう声をかけていきます。

脳と体を動かす「朝食スイッチ」…朝食をとろう。

10月号の給食だよりもお知らせしましたが、朝食をとる子どもの割合が市内の平均に比べてかなり低い調査結果が出ています。

朝食は、単に空腹を満たすためだけでなく、子どもの成長と学習を支える上で、重要な役割を担っています。

1. 脳のエネルギー源を補給する
2. 体内時計をリセットし、体温を上げる
3. 生活習慣病の予防にも繋がる

文部科学省の調査では、毎日朝食を摂っている子どもの方が、全国学力・学習状況調査の平均正答率や体力合計点が高い傾向にあるというデータがあります。朝は忙しいですが、「毎日食べる」という習慣のためには、まずは何か口に入れ、脳と体に活動の合図を送りましょう。

毎日朝食を食べている子(%)		
	南行徳小	市内平均
1年	95	91
2年	85	91
3年	85	92
4年	88	92
5年	83	90
6年	74	87